

市区町村名	山形県東根市	担当部署	教育委員会生涯学習課
		電話番号	(0237) 42-1111 内線 3535

## 1 取組事例名

・東根市 P F I 事業の取組み

## 2 取組期間

・平成 17 年 1 月～（継続中）

## 3 取組概要

・4つの公共施設（消防庁舎、学校給食センター、新設小学校、公益文化施設）の整備及び維持管理運営において、低廉かつ良質な公共サービスの提供が可能となる P F I 手法を導入し、コストの削減と民間の創意工夫による質の高いサービスの実現の両立を図った。

## 4 背景・目的

・老朽化により整備が急務となっていた消防庁舎及び学校給食センター、並びに市内中心地の児童数増加による教室不足から新規整備が必要となっていた新設小学校（大森小学校）については、平成 15 年頃からリース方式や P F I 手法を検討していたが、コスト削減と民間活力導入による効果を目的に、平成 17 年から P F I 事業の導入を図った。

平成 24 年度には、公益文化施設「まなびあテラス」整備においても、3 事例の実績を活かして P F I 手法を導入し、事業を推進した。

## 5 取組の具体的内容

・消防庁舎、学校給食センター、大森小学校、公益文化施設「まなびあテラス」の 4 事業について、担当部署が異なる事業を同時に進めるため、市長部局に P F I 事業担当課（プロジェクト推進課）を設置し、事業を推進した。庁内横断的な事業推進体制により、短期間に多量の事務手続きが必要とされる P F I 事業にあって、導入可能性調査、実施方針の公表、P F I 民間事業者の公募・決定などの手続きにおいて組織決定の迅速化が図られた。

・P F I 手法の導入により、維持管理運営を考慮した施設整備、要求水準以上のサービスの提案、性能発注によるコストダウンなどを実現した。

## 6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

### 公益文化施設整備等事業の特徴(1)

■ P F I 事業としての特徴

①施設整備費のほとんどを完成時一括払

②要求水準書の内容を可能な限り限定しない。

一般的に P F I の目的の一つとされる「予算の平準化」を目的としていない。

提案の幅を広げ、サービス全般において魅力ある提案をもらいたい。

**民間事業者の創意工夫による質の高いサービスを期待**

### 公益文化施設整備等事業の特徴(2)

■ P F I 事業の導入により民間事業者に期待したこと

①複合施設としての効果

各機能の相乗効果による効果的かつ効率的なサービス提供

②指定管理者としての効果

要求水準書を満たすのであれば、選定事業者の意欲的な提案を尊重し、民間事業者ならではの創意工夫を取り入れた提案

③長期にわたる事業への創意・工夫(配慮)

20年という長期にわたって安定的かつ効果的に事業を継続させるための積極的な提案

## 7 取組の効果・費用

・4事業とも、PFI事業のメリットである維持管理運営を考慮した施設整備、要求水準以上のサービスの提案がなされた。

・4事業をとおしたバリュー・フォー・マネー（VFM）：支払いに対するサービスの価値

VFMの最大化がPFI事業の目的の一つ

（VFMは、現在価値（発生時期を異にする貨幣価値を比較可能にするために、将来の価値を一定の割引率を使って現在時点まで割り戻した価値）を用いて算定するため実額とは異なります）

消防庁舎 9.9% 約 61,649 千円 (15年間)

給食センター 18.4% 約 733,333 千円 (15年間)

新設小学校 30.9% 約 660,508 千円 (15年間)

公益文化施設 12.4% 約 784,600 千円 (20年間)

4事業合計 約 2,240,090 千円

## 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦勞した点）

・要求水準書の内容を可能な限り限定せず、提案の幅を広げ、サービス全般において魅力ある提案を求めたが、一方で要求水準の達成基準が曖昧になりがちで、両者を両立させることが課題となった。

## 9 今後の予定・構想

・PFI事業はあくまで公共施設整備の一手段であり、個別の事例ごとに最適な整備手法を検討していく。

## 10 他団体へのアドバイス

・PFI事業導入にあたっては少人数でもPFI事業担当課を設置することでスムーズに事業展開ができると思います。

・要求水準書の策定にあたっては、事業参加予定者の意見を幅広く聴取し、時代のニーズやトレンドをより専門的に把握している方々の意見を反映することで、よりよい事業になると思います。